

令和7年度「花岡農村環境改善センター」に係るモニタリング評価結果（第1回）

花岡農村環境改善センターについては、株式会社秋田東北ダイケンが指定管理者として施設の管理運営を行っています。

指定管理者からのヒアリング内容及び実地調査等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和7年7月22日

施設名	花岡農村環境改善センター
設置目的	農村経営及び農家生活の改善合理化、農業者等の健康増進、地域連帯感の醸成等を図り、農村の環境整備を組織的に推進するため、農村環境整備共同利用センターを設置する。
所在地	青森市浪岡大字女鹿沢字野尻14番地1
指定管理者	【名称】株式会社秋田東北ダイケン 【代表者】代表取締役 金子 宗典 【住所】秋田県秋田市中通二丁目2番32号
指定期間	令和6年4月1日から令和10年3月31日まで（5年間）

評価項目	実施内容	評価結果	
		適正	要改善
管理について	職員は適正な配置となっているか。	○	
	職員の研修が行われているか。	○	
	保守点検業務が適切に行われているか。	○	
	防犯、防火、緊急時の対応が的確に行なわれるようになってきているか。	○	
	個人情報保護について適切な対応が行われているか。	○	
	省エネルギーに努めているか。	○	
運営について	市民の平等な利用が確保されているか。	○	
	利用者の要望、意見を把握し、運営に反映しているか。	○	
	積極的に地域や関係団体と連携を図っているか。	○	
	サービス向上の対策がされているか。	○	
	PRやイベントなど利用促進への取り組みが行われているか。	○	

【総合評価】

施設の管理運営状況は仕様書どおり実施され、概ね適正である。今後も適切な管理・運営に努めていただきたい。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

【担当課】 青森市農林水産部農地林務課
【電 話】 0172-62-1179（直通）
【メー ル】 nochirimmu@city.aomori.aomori.jp

令和7年度「花岡公園」に係るモニタリング評価結果（第1回）

花岡公園については、株式会社秋田東北ダイケンが指定管理者として施設の管理運営を行っています。

指定管理者からのヒアリング内容及び実地調査等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和7年7月22日

施設名	花岡公園
設置目的	市民の憩いや安らぎ、健康増進、文化、レクリエーション活動の拠点として、子供からお年寄りまで多くの人々が利用し、楽しむことができる場を提供するとともに、美しく潤いのある都市景観を形成し、公共の福祉の増進に資することを目的とする。
所在地	青森市浪岡大字女鹿沢字野尻14番地1
指定管理者	【名称】株式会社秋田東北ダイケン 【代表者】代表取締役 金子 宗典 【住所】秋田県秋田市中通二丁目2番32号
指定期間	令和5年4月1日 から 令和10年3月31日 まで（5年間）

評価項目		実施内容	評価結果	
			適正	要改善
管理について	施設管理業務が適切に行われているか。	草刈りや樹木管理を行い、公園が持つ様々な機能を十分に発揮させるなど、市民が公園を利用しやすいよう努め、報告書と現地確認により、仕様書どおり適正に行われている。	○	
	防犯、防災、緊急時の対応が的確に行われるようになってきているか。	緊急連絡網を整備し、花岡プラザ・農村環境センターと合同で年2回避難訓練を行っており、緊急時への対応が的確に行える体制を整えている。	○	
	個人情報保護について適切な対応が行われているか。	個人情報の保護に関する法律を遵守しているほか、社内の個人情報保護規定に沿った事務処理を行っている。	○	
	環境保全に対する取組みが行われているか。	節水・節電等によるエネルギー使用量の削減のほか、環境負荷の軽減に資する物品の購入に努めている。	○	
運営について	市民の平等な利用が確保されているか。	特定の個人及び団体が優遇されることのないよう、施設情報を発信し、市民の平等な利用の確保に努めている。	○	
	利用者の要望、意見を把握し、運営に反映しているか。	利用者や地元代表者等参加による運営委員会を開催し、意見の徴収を行い業務に反映させるよう努めている。	○	
	積極的に地域や関係団体と連携を図っているか。	地域の清掃活動に参加しているほか、各種イベント実施時に、地域・関係団体との積極的な連携を図り、地域の活性化に努めている。	○	
	サービス向上の対策がされているか。	6月に公園で開催した「花岡プラザまつり」等は、たくさんの利用者を集め好評であった等、利用促進策は効果的である。	○	

【総合評価】

公園の管理運営状況は適正である。来館者を増加させるための利用促進策については、花岡公園で「花岡プラザまつり」の開催等の工夫を図っており、引き続き、更なる努力をお願いしたい。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

【担当課】 青森市浪岡振興部都市整備課
【電 話】 0172-62-1168
【メール】 n-toshiseibi@city.aomori.aomori.jp

令和7年度「青森市営住宅等（浪岡地区）」に係るモニタリング評価結果（第1回）

青森市営住宅等（浪岡地区）については、有限会社皆成建設が指定管理者として施設の管理運営を行っています。

指定管理者からのヒアリング内容及び実地調査等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和7年7月23日

施設名	青森市営住宅等（浪岡地区）
設置目的	健康で文化的な生活を営むに足る住宅を、住宅に困窮している低所得者に対して低廉な家賃で賃貸すること等により、市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与するため。
所在地	青森市浪岡大字浪岡字平野41番地内ほか5地区（6団地）
指定管理者	【名称】有限会社 皆成建設 【代表者】代表取締役 前田 憲秀 【住所】青森市浪岡大字銀字杉田147番地1
指定期間	令和5年4月1日 から 令和10年3月31日 まで（5年間）

評価項目		実施内容	評価結果	
			適正	要改善
管理について	職員等の配置は適切なものとなっているか	実務経験があり、緊急時の対応も可能な職員が配置されている。	○	
	職員の育成に向けた研修等が実施されているか	全職員を対象とした接遇研修への参加が計画されている。	○	
	防犯、防災、緊急時の対応に関する取組みがなされているか	市・管理人らと緊急時における連絡体制が構築されており、防災訓練も実施することとしている。	○	
	個人情報保護に関する取組みがなされているか	書類の施錠管理やPCのネット接続の禁止等により個人情報の保護への対策がなされている。	○	
	環境保全、負荷低減の取組みがなされているか	定期巡回や団地訪問時に設備の異常や変化を注視するとともに、LED電球の導入等による環境配慮を行っている。	○	
運営について	市民の平等な利用の確保に向けた取組みがなされているか	市営住宅の設置目的を理解し、入居者の平等性や公平性に配慮するよう努めているほか、状況に応じて福祉関連の部署との連携をとっている。	○	
	利用者の要望の把握と反映方法について	処理簿を作成し内容等を的確に把握したうえで、状況に応じて市と協議を行いながら迅速な対応に努めている。	○	
	修繕業務への対応について	現地確認のうえで修繕を行い、内容、発注状況等を台帳整理している。緊急時は速やかに応急措置を施し市に報告が行われている。	○	
	収納業務への対応について	遅延する入居者に対して、電話や訪問により遅延の理由を確認し納付を促している。	○	
	不法行為等への対応について	居住ルールの周知や定期巡回を行うほか、住宅管理人・町内会と連携により監視を強化し抑制に努めている。	○	

【総合評価】

施設の管理運営業務について、協定書、仕様書に基づき適正に行われている。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

【担当課】 青森市浪岡振興部都市整備課
【電話】 0172-62-1145
【メール】 n-toshiseibi@city.aomori.aomori.jp

令和7年度「青森市文化会館」に係るモニタリング評価結果（第1回）

青森市文化会館については、一般財団法人青森市文化観光振興財団が指定管理者として施設の管理運営を行っています。

指定管理者からのヒアリング内容及び実地調査等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和7年7月29日

施設名	青森市文化会館
設置目的	市民の文化活動及び集会等の用に供し、もって芸術文化の振興及び市民福祉の増進に資することを目的とする。
所在地	青森市堤町1丁目4番1号
指定管理者	【名称】一般財団法人青森市文化観光振興財団 【代表者】理事長 木村 文人 【住所】青森市雲谷字梨の木63番地
指定期間	令和5年4月1日 から 令和10年3月31日まで（5年間）

評価項目		実施内容	評価結果	
			適正	要改善
管理について	サービスの質を落とさない効率的な業務員の配置となっているか。	業務員の配置については施設の受付、貸出業務等の窓口業務と施設の管理運営業務、文化振興事業に係る業務に分けられるが、繁忙期にはそれぞれ補充するなど、効率的な人員配置を行っている。	○	
	業務員の研修が行われているか。	職員研修計画に基づき接遇研修、会計研修などを実施している。	○	
	各種保守点検・管理業務が適切に行われているか。	設備等の保守点検や定期的な施設の見回りにより、不具合箇所について直ちに対策を講じるとともに、市へ報告している。	○	
	防犯、防災、緊急時に迅速かつ的確な対応を行えるように備えているか。	危機管理マニュアルを作成し、職員へ周知徹底を図るとともに、防災訓練を実施するなど、緊急時の対応の備えが十分になされている。	○	
	個人情報の保護について適切な対応が行われているか。	個人情報保護規程に基づき、事務室の鍵付キャビネットに書類を保管する等、個人情報の取扱には細心の注意を払っている。	○	
運営について	環境保全の推進及び環境負荷の低減に努めているか。	環境方針を定め、環境管理マニュアルを作成し、職員へ周知徹底を図り、省資源に努めるとともに、施設利用者に対しても施設掲示により省資源への理解と協力を求めている。	○	
	市民の平等利用が確保されているか。	原則、先着順で利用申込を受けているが、利用希望者が複数の場合は抽選により利用者を決定するように配慮するなど平等・公平性の確保に努めている。	○	
	利用者の要望、意見を把握し、運営に反映しているか。	意見箱の設置や事業毎のアンケートの実施により寄せられた意見は全職員に閲覧し、改善点の意識共有を図っている。施設や設備の不具合に関する指摘については、直ちに現場確認後、対策を講じている。	○	
	積極的に地域や関係団体と連携を図っているか。	青森市文化団体協議会など、各種文化団体と連携してさまざまな文化事業を開催している。	○	
	利用率向上に努めているか。	2か月先までの催事予定と1年先までの施設予約状況をホームページで公開するとともに、催事予定は館内サイネージに表示するなど、利用者の増加に取り組んでいる。また、予約の入っていない時期には自主事業を開催し、利用率向上に努めている。	○	

【総合評価】

- 管理状況については、効率的な人員配置を行っており、各種保守点検、管理業務についても適切に行われている。
- 運営状況については、市民の平等利用の確保、利用者の要望、意見の把握と反映に努めている。
- 一部利用料金制となったが、窓口で現金払を可能とする等、利用者の利便性を確保する取組が行われている。
- 利用状況については、前年に引き続き利用者数が増加している。
- 事業状況については、事業者都合により中止となった事業があるものの、おおむね計画通りに実施されている。
- 指定管理者ではネーミングライツスポンサーが提供したサインージを導入し、施設利用情報の随時更新や、催事情報の動画や静止画による提供等を行っている。また施設利用者へWi-Fi機器を貸し出しするなど施設利用者の利便性向上に取り組んでいることから、今後も新たな取組に挑戦してほしい。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

【担当課】 青森市教育委員会事務局文化学習活動推進課
【電 話】 017-718-1432（直通）
【メール】 bunkagakushu@city.aomori.aomori.jp

令和7年度「青森市文化会館地下駐車場」に係るモニタリング評価結果（第1回）

青森市文化会館地下駐車場については、一般財団法人青森市文化観光振興財団が指定管理者として施設の管理運営を行っています。
 指定管理者からのヒアリング内容及び実地調査等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和7年7月29日

施設名	青森市文化会館地下駐車場
設置目的	都市における道路交通の円滑化を図り、もって公衆の利便に資するとともに、都市の機能の維持及び増進に寄与することを目的とする。
所在地	青森市堤町1丁目4番13号
指定管理者	【名称】一般財団法人青森市文化観光振興財団 【代表者】理事長 木村 文人 【住所】青森市雲谷字梨の木63番地
指定期間	令和5年4月1日 から 令和10年3月31日まで（5年間）

評価項目		実施内容	評価結果	
			適正	要改善
管理について	サービスの質を落とさない効率的な業務員の配置となっているか。	文化会館と地下駐車場において、催事等の繁忙期には人員をシフトするなど、効率的な人員配置を行っている。	○	
	業務員の研修が行われているか。	職員研修計画に基づき接遇研修、会計研修などを実施している。	○	
	各種保守点検・管理業務が適切に行われているか。	設備等の保守点検や定期的な施設の見回りにより、不具合箇所について直ちに対策を講じている。	○	
	防犯、防災、緊急時に迅速かつ的確な対応を行えるように備えているか。	危機管理マニュアルを作成し、職員へ周知徹底を図るとともに、防災訓練を実施するなど、緊急時の対応の備えが十分になされている。	○	
	個人情報の保護について適切な対応が行われているか。	個人情報保護規程に基づき、個人情報の取扱には細心の注意を払っている。	○	
運営について	環境保全の推進及び環境負荷の低減に努めているか。	環境方針を定め、環境管理マニュアルを作成し、職員へ周知徹底を図り、省資源に努めるとともに、施設利用者に対しても省資源に対する理解と協力を求めている。	○	
	市民の平等利用が確保されているか。	114台の駐車場は入場順での利用となるが、障害者専用駐車場を4台分確保している。	○	
	利用者の要望、意見を把握し、運営に反映しているか。	アンケートの実施等により寄せられた意見は全職員に閲覧し、改善点の意識共有を図っている。施設や設備の不具合に関する指摘については、直ちに現場確認後、対策を講じている。	○	
	積極的に地域や関係団体と連携を図っているか。	満車が予測される場合はSNS等で周知し、満車時は近隣駐車場の一覧表を配布して他の駐車場へ誘導するなど、近隣の交通の妨げとならないよう努力している。	○	
	利用率向上に努めているか。	文化会館利用者の減少と連動して利用台数が伸び悩んでいるが、駐車利用回数券の販売PRの掲示を施設内複数箇所に掲示し、定期利用者増に伴う利用率向上に努めている。	○	

【総合評価】

- 管理状況については、効率的な人員配置を行っており、各種保守点検、管理業務についても適切に行われている。
- 運営状況については、市民の平等利用の確保、利用者の要望、意見の把握と反映に努めている。
- 利用状況については、前年度に引き続き利用台数が増加している。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

【担当課】 青森市教育委員会事務局文化学習活動推進課
【電 話】 017-718-1432（直通）
【メー ル】 bunkagakushu@city.aomori.aomori.jp

令和7年度「青森市民ホール」に係るモニタリング評価結果（第1回）

青森市民ホールについては、一般財団法人青森市文化観光振興財団が指定管理者として施設の管理運営を行っています。

指定管理者からのヒアリング内容及び実地調査等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和7年7月29日

施設名	青森市民ホール
設置目的	市民に、演劇、舞踊、音楽等を通じ、若しくは練習し、又は鑑賞する機会及び市民の交流の場を提供し、もって芸術・文化の普及振興及び市民の交流の促進を図ることを目的とする。
所在地	青森市柳川1丁目2番14号
指定管理者	【名称】一般財団法人青森市文化観光振興財団 【代表者】理事長 木村 文人 【住所】青森市雲谷字梨の木63番地
指定期間	令和5年4月1日 から 令和10年3月31日まで（5年間）

評価項目		実施内容	評価結果	
			適正	要改善
管理について	サービスの質を落とさない効率的な業務員の配置となっているか。	業務員の配置については施設の受付、貸出業務等の窓口業務と施設の管理運営業務、文化振興事業に係る業務に分けられるが、繁忙期にはそれぞれ補充するなど、効率的な人員配置を行っている。	○	
	業務員の研修が行われているか。	職員研修計画に基づき接遇研修などを実施している。	○	
	各種保守点検・管理業務が適切に行われているか。	設備等の保守点検や定期的な施設の見回りにより、不具合箇所について直ちに対策を講じている。	○	
	防犯、防災、緊急時に迅速かつ的確な対応を行えるように備えているか。	危機管理マニュアルを作成し、職員へ周知徹底を図るとともに、防災訓練を実施するなど、緊急時の対応の備えが十分になされている。	○	
	個人情報の保護について適切な対応が行われているか。	個人情報保護規程に基づき、事務室の鍵付キャビネットに書類を保管する等、個人情報の取扱には細心の注意を払っている。	○	
運営について	環境保全の推進及び環境負荷の低減に努めているか。	環境方針を定め、環境管理マニュアルを作成し、職員へ周知徹底を図り、省資源に努めるとともに、施設利用者に対しても省資源に対する理解と協力を求めている。	○	
	市民の平等利用が確保されているか。	原則、先着順で利用申込みを受けているが、利用希望者が複数の場合は抽選により利用者を決定するように配慮するなど平等・公平性の確保に努めている。	○	
	利用者の要望、意見を把握し、運営に反映しているか。	意見箱の設置や事業毎のアンケートの実施により寄せられた意見は全職員に閲覧し、改善点の意識共有を図っている。施設や設備の不具合に関する指摘については、直ちに現場確認後、対策を講じている。	○	
	積極的に地域や関係団体と連携を図っているか。	青森市文化団体協議会など、各種文化団体と連携してさまざまな文化事業を開催している。また、他都市の文化施設とも情報共有し有効な関係を築いている。	○	
	利用率向上に努めているか。	2ヶ月先までの催物案内と1年先までの施設予約状況をホームページで公開するとともに、貸し施設が空いている時には、自主事業を開催するなど、利用率向上に努めている。	○	

【総合評価】

- 管理状況については、効率的な人員配置を行っており、各種保守点検、管理業務についても適切に行われている。
- 運営状況については、市民の平等利用の確保、利用者の要望、意見の把握と反映に努めている。
- 一部利用料金制となったが、窓口で現金払を可能とする等、利用者の利便性を確保する取組が行われている。
- 利用状況については、前年度と比較し催事数が減少したことにより、施設利用者数が減少している。
- 事業状況については、計画通りに実施されている。
- 貸館業務のほか、市教委が行うギャラリー貸出に係る社会実験にも積極的に協力し、施設の利用機会創出を図っている。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

【担当課】 青森市教育委員会事務局文化学習活動推進課
【電 話】 017-718-1432（直通）
【メー ル】 bunkagakushu@city.aomori.aomori.jp

令和7年度「青森市民ホール駐車場」に係るモニタリング評価結果（第1回）

青森市民ホール駐車場については、一般財団法人青森市文化観光振興財団が指定管理者として施設の管理運営を行っています。

指定管理者からのヒアリング内容及び実地調査等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和7年7月29日

施設名	青森市民ホール駐車場
設置目的	都市における道路交通の円滑化を図り、もって公衆の利便に資するとともに、都市の機能の維持及び増進に寄与することを目的とする。
所在地	青森市柳川1丁目2番14号
指定管理者	【名称】一般財団法人青森市文化観光振興財団 【代表者】理事長 木村 文人 【住所】青森市雲谷字梨の木63番地
指定期間	令和5年4月1日 から 令和10年3月31日まで（5年間）

評価項目		実施内容	評価結果	
			適正	要改善
管理について	サービスの質を落とさない効率的な業務員の配置となっているか。	通常は機械式システムによる無人での対応となっており、不具合等が生じた際には職員が対応している。	○	
	業務員の研修が行われているか。	職員研修計画に基づき接客研修などを実施している。	○	
	各種保守点検・管理業務が適切に行われているか。	設備等の保守点検や定期的な施設の見回りにより、不具合箇所について直ちに対策を講じている。	○	
	防犯、防災、緊急時に迅速かつ的確な対応を行えるように備えているか。	危機管理マニュアルを作成し、職員へ周知徹底を図るとともに、防災訓練を実施するなど、緊急時の対応の備えが十分になされている。	○	
	個人情報の保護について適切な対応が行われているか。	個人情報保護規程に基づき、個人情報の取扱には細心の注意を払っている。	○	
運営について	環境保全の推進及び環境負荷の低減に努めているか。	環境方針を定め、環境管理マニュアルを作成し、職員へ周知徹底を図り、省資源に努めるとともに、施設利用者に対しても省資源に対する理解と協力を求めている。	○	
	市民の平等利用が確保されているか。	34台の駐車場は入場順での利用となるが、障害者専用駐車場を2台分確保している。	○	
	利用者の要望、意見を把握し、運営に反映しているか。	アンケートの実施等により寄せられた意見は全職員に閲覧し、改善点の意識共有を図っている。施設や設備の不具合に関する指摘については、直ちに現場確認後、対策を講じている。	○	
	積極的に地域や関係団体と連携を図っているか。	満車の際は近隣駐車場の一覧表を配布し、他の駐車場へ誘導するなど、利用者や近隣の交通に不便をかけないように努力している。	○	
	利用率向上に努めているか。	施設の利用率向上に取り組むとともに、駐車場パンフレットを配布することにより、駐車場利用率向上に努めている。	○	

【総合評価】

- 管理状況については、効率的な人員配置を行っており、各種保守点検、管理業務についても適切に行われている。
- 運営状況については、市民の平等利用の確保、利用者の要望、意見の把握と反映に努めている。
- 利用状況については、施設利用者の減少と連動して利用者数が減少している。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

【担当課】 青森市教育委員会事務局文化学習活動推進課
【電 話】 017-718-1432（直通）
【メー ル】 bunkagakushu@city.aomori.aomori.jp

令和7年度「青森市合浦亭」に係るモニタリング評価結果（第1回）

青森市合浦亭については、一般財団法人青森市文化観光振興財団が指定管理者として施設の管理運営を行っています。

指定管理者からのヒアリング内容及び実地調査等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和7年7月29日

施設名	青森市合浦亭
設置目的	茶道、華道、俳句、短歌等の文化活動及び各種研究集会の用に供し、もって芸術文化の振興および市民福祉の増進に寄与することを目的とする。
所在地	青森市合浦2丁目16番14号
指定管理者	【名称】一般財団法人青森市文化観光振興財団 【代表者】理事長 木村 文人 【住所】青森市雲谷字梨の木63番地
指定期間	令和5年4月1日 から 令和10年3月31日まで（5年間）

評価項目		実施内容	評価結果	
			適正	要改善
管理について	サービスの質を落とさない効率的な業務員の配置となっているか。	通常は施設を施錠し無人としており、施設の受付、貸出業務等の窓口業務と施設の管理運営業務、文化振興事業に係る業務は文化会館の職員が担当しており、効率的な人員配置となっている。	○	
	業務員の研修が行われているか。	職員研修計画に基づき接遇研修などを実施している。	○	
	各種保守点検・管理業務が適切に行われているか。	設備等の保守点検や定期的な施設の見回りにより、不具合箇所について直ちに対策を講じている。	○	
	防犯、防災、緊急時に迅速かつ的確な対応を行えるように備えているか。	危機管理マニュアルを作成し、職員へ周知徹底を図るなど、緊急時の対応の備えが十分になされている。	○	
	個人情報の保護について適切な対応が行われているか。	個人情報保護規程に基づき、文化会館事務室の鍵付キャビネットに書類を保管する等、個人情報の取扱には細心の注意を払っている。	○	
運営について	環境保全の推進及び環境負荷の低減に努めているか。	環境方針を定め、環境管理マニュアルを作成し、職員へ周知徹底を図り、省資源に努めるとともに、施設利用者に対しても省資源に対する理解と協力を求めている。	○	
	市民の平等利用が確保されているか。	原則、先着順で利用申込みを受けているが、利用希望者が複数の場合は抽選により利用者を決定するように配慮するなど平等・公平性の確保に努めている。	○	
	利用者の要望、意見を把握し、運営に反映しているか。	意見箱の設置や事業毎のアンケートの実施により寄せられた意見は全職員に閲覧し、改善点の意識共有を図っている。施設や設備の不具合に関する指摘については、直ちに現場確認後、対策を講じている。	○	
	積極的に地域や関係団体と連携を図っているか。	茶道団体と連携し、文化事業を実施している。合浦公園を管理している、パークメンテ青い森グループと協力しながら振興に努めている。	○	
	利用率向上に努めているか。	ホームページやSNSによる情報提供のほか、各種関係団体への利用促進のPR活動を行っており、文化団体と共催で自主事業を開催することで、利用率向上に努めている。	○	

【総合評価】

- 管理状況については、効率的な人員配置を行っており、各種保守点検、管理業務についても適切に行われている。
- 運営状況については、市民の平等利用の確保、利用者の意見要望の把握と反映に努めている。
- 一部利用料金制となったが、窓口で現金払を可能とする等、利用者の利便性を確保する取組が行われている。
- 利用状況については、従来行ってきた各種関係団体への利用促進のPR活動や文化団体と共同で開催する自主事業に加え、SNSにおいて写真撮影など、これまで中心であった茶道以外の用途でも利用が可能である旨を紹介するなど利用率向上にも努めている。
- 事業状況については、計画通りに実施されている。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

【担当課】 青森市教育委員会事務局文化学習活動推進課
【電話】 017-718-1432（直通）
【メール】 bunkagakushu@city.aomori.aomori.jp

令和7年度「青森市民美術展示館」に係るモニタリング評価結果（第1回）

青森市民美術展示館については、一般財団法人青森市文化観光振興財団が指定管理者として施設の管理運営を行っています。

指定管理者からのヒアリング内容及び実地調査等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和7年7月29日

施設名	青森市民美術展示館
設置目的	市民に美術作品の展示及び鑑賞の機会を提供し、もって芸術・文化の普及振興を図ることを目的とする。
所在地	青森市柳川1丁目1番5号 青森駅東口ビル4階
指定管理者	【名称】一般財団法人青森市文化観光振興財団 【代表者】理事長 木村 文人 【住所】青森市雲谷字梨の木63番地
指定期間	令和6年7月1日 から 令和10年3月31日まで（4年9か月間）

評価項目		実施内容	評価結果	
			適正	要改善
管理について	サービスの質を落とさない効率的な業務員の配置となっているか。	業務員の配置については施設の受付、貸出業務等の窓口業務と施設の管理運営業務、文化振興事業に係る業務に分けられるが、業務量に応じて他の文化施設から応援を受けるなど、効率的な人員配置を行っている。	○	
	業務員の研修が行われているか。	職員研修計画に基づき接遇研修などを実施している。	○	
	各種保守点検・管理業務が適切に行われているか。	設備等の保守点検や定期的な施設の見回りにより、不具合箇所について直ちに対策を講じている。	○	
	防犯、防災、緊急時に迅速かつ的確な対応を行えるように備えているか。	危機管理マニュアルを作成し、職員へ周知徹底を図るとともに、定期的に防災訓練を実施するなど、緊急時の対応の備えが十分になされている。	○	
	個人情報の保護について適切な対応が行われているか。	個人情報保護規程に基づき、事務室の鍵付キャビネットに書類を保管し、データのパスワード処理、端末の持ち出し禁止など、個人情報の取扱いには細心の注意を払っている。	○	
運営について	環境保全の推進及び環境負荷の低減に努めているか。	環境方針を定め、環境管理マニュアルを作成し、職員へ周知徹底を図り、省資源に努めるとともに、施設利用者に対しても省資源に対する理解と協力を求めている。	○	
	市民の平等利用が確保されているか。	原則、先着順で利用申込みを受けているが、利用希望者が複数の場合は抽選により利用者を決定するように配慮するなど平等・公平性の確保に努めている。	○	
	利用者の要望、意見を把握し、運営に反映しているか。	意見箱の設置や事業毎のアンケートの実施により寄せられた意見は全職員に閲覧し、改善点の意識共有を図っている。施設や設備の不具合に関する指摘については、直ちに現場確認後、対策を講じている。	○	
	積極的に地域や関係団体と連携を図っているか。	青森市文化団体協議会など、各種文化団体と連携して、市民文化祭などのさまざまな文化事業を開催している。	○	
	利用率向上に努めているか。	2ヶ月先までの催物案内や1年先までの施設利用予定状況をホームページで公開するとともに、貸し施設が空いている時には、自主事業を開催するなど、利用率向上に努めている。	○	

【総合評価】

- 管理状況については、効率的な人員配置を行っており、各種保守点検、管理業務についても適切に行われている。
- 運営状況については、市民の平等利用の確保、利用者の意見要望の把握と反映に努めている。
- 利用状況については、施設の移設により来館者が大幅に増加し好調に推移している。
- 事業状況については、施設予約がない日には市所蔵美術作品を展示し、来館者が作品を鑑賞できる環境を整えている。
- 移設に伴い、デジタルサイネージや各種掲示を活用して催事内容を案内しており、引き続ききめ細かい周知に努めてほしい。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

【担当課】 青森市教育委員会事務局文化学習活動推進課
【電 話】 017-718-1432（直通）
【メール】 bunkagakushu@city.aomori.aomori.jp

令和7年度「青森市古川市民センター」に係るモニタリング評価結果（第1回）

青森市古川市民センターについては、青森市古川市民センター管理運営協議会が指定管理者として施設の管理運営を行っています。

指定管理者からのヒアリング内容及び実地調査等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和7年7月25日

施設名	青森市古川市民センター
設置目的	住民のふれあいと連帯感あふれる地域社会づくりを推進し、併せて地域文化活動の振興、生涯学習の充実、健康の増進等を図り、もって豊かな市民生活の形成に資するため設置しています。
所在地	青森市古川三丁目7番14号
指定管理者	【名称】青森市古川市民センター管理運営協議会 【代表者】会長 千葉 滋 【住所】青森市古川三丁目7番14号
指定期間	令和3年4月1日 から 令和8年3月31日 まで（5年間）

評価項目	実施内容	評価結果		
		適正	要改善	
管理について	市内在住者の雇用について配慮があるか。	本施設の職員は市内在住者である。 (19人中19人、100%)	○	
	職員の適正配置がなされているか。	管理責任者1名、事務局員2名、管理運営業務員9名、プール監視員4名、清掃業務員3名の計19名で勤務ローテーションを組み、日中は常時6名（うち、室内プール2名）、夜間は事務室に2名、室内プールに2名と適正な配置となっている。	○	
	職員の雇用・労働条件の向上に努めているか。	雇用・労働に係る法令等を遵守し、条件の向上に努めている。	○	
	職員の育成に方向性があるか。 職員研修の内容及び回数は適切か。	内部研修として、施設管理運営について回覧で職員間の情報共有を図り、漏れの無いように実施を予定しているほか、外部研修についても業務に支障のない範囲で参加する予定であり、適正に行われている。	○	
	管理保守点検業務が適切に行われているか。	保守点検業務等は、一部を外部業者と契約し、日常的点検と併せ、施設全般の保守点検が適正に行われている。施設設備等の修繕等は、中央市民センターと連携を図りながら対応しており、適正に行われている。	○	
	防犯・防災・緊急時の対応に関する取組が適切に行われているか。	防災マニュアルを作成し、緊急連絡網とともに事務室のわかりやすい場所に設置しているほか、緊急時に対応できるよう職員にも持たせている。また、避難訓練は、古川小学校と合同で4月と6月に実施したほか、今後も適宜実施予定であり、適正に行われている。	○	
	個人情報保護の取組について、職員への周知や講じている保護策は適切か。	団体登録書、使用申請書等の簿冊は鍵付キャビネットに保管し、不要な持ち出しがないようにしている。パソコンはパスワードで管理し、廃棄文書はシュレッダーで処理するなど、適切に対応している。	○	
	環境保全、負荷低減への取組が適切か。	照明の部分点灯や使用していない部屋の消灯を徹底し、再生紙を利用するなど継続して省エネに努めている。ポスターを掲示し来館者へも理解と協力を呼びかけており、適正に行われている。	○	
	障がい者等への対応は適切か。	障がい者等の体の不自由な利用者がいた場合にはできる限り声がけして介助したり、車イスを配備するなど、障がい者も支障なく施設を利用できるよう適切に対応している。	○	

運営について	平等な利用確保の方針は明確か。	すべての部屋において、調整により平等利用が図られているほか、重複する場合には月末に抽選で利用者を決定することとし、規則等に従って利用者の平等利用に努めている。	○	
	利用者の要望を運営に反映する工夫がされているか。	館内2箇所（1階ホールと2階プール入口）に意見箱を設置し、利用者の声を積極的に聞いているほか、事業実施の都度、利用者アンケートを実施し、次期事業の立案の参考としている。	○	
	利用者に対するサービス向上対策を行っているか。	内部会議により検討が行われ、サービス向上を図っている。	○	
	来館者を増加させるための利用促進策は効果的であるか。	講座に関するチラシ等の掲示により、適切に実施されている。掲示については、「見やすい」「取りやすい」ための工夫がされている。	○	
	地域・関連団体との連携を図っているか。	町会や地域の団体等が事業に協力するなど、地域との連携を図っており、適正に行われている。	○	
	必須事業・自主事業は仕様書・提案書どおり実施されているか。	事業は計画どおり実施されている。	○	

【総合評価】

管理状況については、適切な人員配置を行っており、各種保守点検、防犯・防災対策等の施設管理業務についても適正に実施されている。

運営状況については、市民の平等利用が確保されており、利用者の意見要望の把握と反映に努め、事業も事業計画通りに実施しているほか、町会や地域の団体との連携が図られている。

今後も、引き続き施設の良好な管理運営に努めてほしい。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

【担当課】 青森市教育委員会事務局中央市民センター

【電話】 017-734-0163

【メール】 chuo-center@city.aomori.aomori.jp

令和7年度「青森市男女共同参画プラザ」に係るモニタリング評価結果（第1回）

青森市男女共同参画プラザについては、特定非営利活動法人あおもり男女共同参画をすすめる会が指定管理者として施設の管理運営を行っています。
 指定管理者からのヒアリング内容及び実地調査等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和7年7月24日

施設名	青森市男女共同参画プラザ
設置目的	男女共同参画社会基本法及び男女共同参画都市青森宣言の精神に則り、本市における男女共同参画社会の形成を図る拠点として、市民の多様な交流及び活動を支援するため。
所在地	青森市新町一丁目3番7号 アウガ内
指定管理者	【名称】 特定非営利活動法人あおもり男女共同参画をすすめる会 【代表者】 理事長 篠崎 有香 【住所】 青森市古川二丁目2番6号
指定期間	令和4年4月1日 から 令和9年3月31日 まで（5年間）

評価項目		実施内容	評価結果	
			適正	要改善
管理について	職員の適正配置がなされているか	ローテーション勤務による効率的な人員配置により、施設の開館時間に適切に対応しています。また、2つの施設を管理していることから、年間を通じて職員を柔軟に配置するなど、適正な人員体制を確保しています。	○	
	職員研修が適切に行われているか	市民ニーズに的確に対応できるよう職員の資質や意識の向上のために、男女共同参画研修、接遇研修、管理運営研修が行われています。	○	
	管理保守点検業務が適切に行われているか	仕様書に基づき適切に行われています。	○	
	防犯・防災・緊急時の対応を適切に行えるようにしているか	毎年度アウガビル全体で実施する合同消防訓練への参加や、フロー図に基づく連絡体制及び仕様書に基づく巡回、感染症対策など、適切な危機管理体制が整えられています。	○	
	個人情報保護に関する取組みは適切か	個人情報保護に関する規程を設け、それに基づき適切な取組がされています。	○	
	環境保全、環境負荷低減の取組みが行われているか	「青森市環境方針」に基づき、ゴミの減量化や電気量の削減など、環境保全や省エネに努めています。	○	

運営について	市民の平等利用が確保されているか	施設の利用希望が重なった時にはくじ引き抽選を行うとともに、キャンセル待ちの対応も適切に行われており、平等利用が確保されています。また、窓口では翻訳ソフトが入ったタブレット端末を導入し、施設利用時の打ち合わせ等を行っています。	○	
	利用者ニーズを把握し、反映しているか	受付カウンターに「お客様の声」ボックスを設置しているほか、講座開催時のアンケートや、登録団体との意見交換など、利用者ニーズを把握し、施設管理や事業への反映に努めています。	○	
	利用者に対するサービスの向上に努めているか	接客マナーや苦情対応について全職員が共通認識を持つよう徹底を図っているほか、ホームページ及び市の広報媒体の活用周知等により、最新の情報提供を行っている。また、Wi-Fiルーターの貸出しを実施するなど、積極的なサービスに努めています。	○	
	地域や関係団体との連携が図られているか	講座やイベントの企画・運営に、指定管理者が持つ独自のネットワークが活かされています。また、相談業務における県女性相談支援センター等との連携が図られています。	○	
	事業の実施内容は仕様書を満たしているか	仕様書に示された啓発講座等を実施していくこととしており、施設の管理なども併せ、事業の実施状況は良好と認められます。	○	
【総合評価】				
施設の管理運営状況、事業の実施状況ともに良好と認められます。				
【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】				
【担当課】 青森市市民部人権男女共同参画課 【電話】 017-734-2296 【メール】 jinken-danjo@city.aomori.aomori.jp				

令和7年度「青森市荒川市民センター」に係るモニタリング評価結果（第1回）

青森市荒川市民センターについては、青森市荒川市民センター管理運営協議会が指定管理者として施設の管理運営を行っています。

指定管理者からのヒアリング内容及び実地調査等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和7年7月15日

施設名	青森市荒川市民センター
設置目的	住民のふれあいと連帯感あふれる地域社会づくりを推進し、併せて地域文化活動の振興、生涯学習の充実、健康の増進等を図り、もって豊かな市民生活の形成に資するため設置しています。
所在地	青森市大字荒川字柴田129番地1
指定管理者	【名称】青森市荒川市民センター管理運営協議会 【代表者】会長 落合 茂 【住所】青森市大字荒川字柴田129番地1
指定期間	令和5年4月1日 から 令和10年3月31日 まで（5年間）

評価項目	実施内容	評価結果		
		適正	要改善	
管理について	市内在住者の雇用について配慮があるか。	本施設の職員は基本的に市内在住者である。（10人中10人、100%）	○	
	職員の適正配置がなされているか。	管理責任者1名、事務業務員（経理・事業・管理）3名、図書業務員2名、夜間業務員2名、清掃員2名の計10名で、勤務ローテーションを組み、日中は概ね3名程度、夜間は2名と適正な配置となっている。	○	
	職員の雇用・労働条件の向上に努めているか。	雇用・労働に係る法令等を遵守し、条件の向上に努めている。	○	
	職員の育成に方向性があるか。職員研修の内容及び回数は適切か。	内部研修として、貸館業務等に関する研修を実施している。外部研修についても、事業実施に係る情報交換会等に参加しており、今後も業務に支障のない範囲で参加することとしている。	○	
	管理保守点検業務が適切に行われているか。	保守点検業務等は、一部を外部業者と契約し、日常的点検と併せ、施設全般の保守点検が適正に行われている。施設設備等の修繕等は、中央市民センターと連携を図りながら対応しており、適正に行われている。	○	
	防犯・防災・緊急時の対応に関する取組が適切に行われているか。	緊急連絡網を事務室に掲示しているほか、防災マニュアルを作成し、事務室のわかりやすい場所に設置している。今年度は6月に1回目の防災訓練を実施し、12月に2回目の実施を予定するなど、適正に行われている。	○	
	個人情報保護の取組について、職員への周知や講じている保護策は適切か。	団体登録書、使用申請書や受講申請書等の簿冊は、専用のキャビネットに保管し、不要な持ち出しがないようにしている。また、パソコンはパスワードで管理し、廃棄文書はシュレッダーで処理するなど、適切に対応している。	○	
	環境保全、負荷低減への取組が適切か。	不要な照明の消灯及び部分空調を徹底し、省エネに努めている。冷暖房に関しても温度管理を徹底するとともに、ポスターを掲示し、来館者へも理解と協力を呼びかけており、適正に行われている。	○	
	障がい者等への対応は適切か。	障がい者等の体の不自由な利用者がいた場合にはできる限り声がけして介助したり、車イスを配備するなど、障がい者も支障なく施設を利用できるよう適切に対応している。	○	

運営について	平等な利用確保の方針は明確か。	利用希望が多い多目的ホールについては、月末に抽選会を実施しているほか、規則等に従って利用者の平等利用に努めている。	○	
	利用者の要望を運営に反映する工夫がされているか。	事業実施の都度、利用者アンケートを実施しニーズの把握に努め、次期事業の企画立案の参考としている。館内に意見箱を設置し、利用者の声を積極的に聞いている。	○	
	利用者に対するサービス向上対策を行っているか。	内部会議により検討が行われ、サービス向上を図っている。	○	
	来館者を増加させるための利用促進策は効果的であるか。	講座に関するチラシ等の掲示や町会回覧版等により、市民への情報提供は適切に実施されている。	○	
	地域・関連団体との連携を図っているか。	正面玄関横に「荒川地域を考える会」による花壇や小規模の農園が作られるなど、地域との連携を図られている。	○	
	必須事業・自主事業は仕様書・提案書どおり実施されているか。	事業は計画どおり実施されている。	○	

【総合評価】

管理状況については、適切な人員配置を行っており、各種保守点検、防犯・防災対策等の施設管理業務についても適正に実施されている。

運営状況については、市民の平等利用が確保されており、利用者の意見要望の把握と反映に努め、事業も事業計画通りに実施しているほか、町会や地域の団体との連携が図られている。

今後も、引き続き施設の良好な管理運営に努めてほしい。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

【担当課】 青森市教育委員会事務局中央市民センター

【電話】 017-734-0163

【メール】 chuo-center@city.aomori.aomori.jp

令和7年度「青森市東部市民センター」に係るモニタリング評価結果（第1回）

青森市東部市民センターについては、青森市東部市民センター管理運営協議会が指定管理者として施設の管理運営を行っています。

指定管理者からのヒアリング内容及び実地調査等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和7年7月23日

施設名	青森市東部市民センター
設置目的	社会教育法第20条の目的である、区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するため設置しています。
所在地	青森市原別三丁目8番1号
指定管理者	【名称】青森市東部市民センター管理運営協議会 【代表者】会長 小笠原 正勝 【住所】青森市原別三丁目8番1号
指定期間	令和5年4月1日 から 令和10年3月31日 まで（5年間）

評価項目	実施内容	評価結果		
		適正	要改善	
管理について	市内在住者の雇用について配慮があるか。	本施設の職員は基本的に市内在住者である。（9人中9人、100%）	○	
	職員の適正配置がなされているか。	管理責任者1名、管理運営業務6名、清掃業務2名の計9名で勤務ローテーションを組み、日中は2～3名、夜間は2名配置され、適正な配置となっている。	○	
	職員の雇用・労働条件の向上に努めているか。	雇用・労働に係る法令等を遵守し、条件の向上に努めている。	○	
	職員の育成に方向性があるか。職員研修の内容及び回数は適切か。	接遇等に関する内部研修を月1回実施している。外部研修も年2回参加予定であり、適切に行われている。	○	
	管理保守点検業務が適切に行われているか。	保守点検業務等は、一部を外部業者と契約し、日常的点検と併せ、適切に行われている。施設設備の修繕等は、中央市民センターと連携を図りながら対応しており、適切に行われている。	○	
	防犯・防災・緊急時の対応に関する取組が適切に行われているか。	緊急連絡網、緊急時の外部委託の連絡先を事務室内に掲示するほか、職員にも持たせている。消防訓練は、5月に1回目を実施し、10月に2回目の実施を予定しており、適切に行われている。	○	
	個人情報保護の取組について、職員への周知や講じている保護策は適切か。	団体登録書等の個人情報が含まれる簿冊は、鍵付キャビネットに保管している。廃棄文書は、シュレッダーで処理するなど、適切に対応している。	○	
	環境保全、負荷低減への取組が適切か。	蛍光灯の間引きや不要箇所の消灯など、省エネに努めている。館内にポスターを掲示し、来館者へ節電に対する理解と協力を呼びかけており、適切に取り組んでいる。	○	
	障がい者等への対応は適切か。	体の不自由な利用者がいた場合は、できる限り声がけて介助したり、車イスを配備するなど、障がい者も支障なく施設を利用できるよう適切に対応している。	○	

運営について	平等な利用確保の方針は明確か。	利用団体相互の調整により、平等に利用されている。調整が困難な場合は、抽選を行うこととしており、規則等に従って利用者の平等利用に努めている。	○	
	利用者の要望を運営に反映する工夫がされているか。	事業実施の際、利用者アンケートを実施しニーズの把握に努め、次期事業の企画立案の参考としている。また、館内に意見・要望受付箱を設置し意見要望等の把握に努めているほか、「市に寄せられた主なご意見と回答」を業務員で回覧及び情報共有し、市民への対応の参考としている。	○	
	利用者に対するサービス向上対策を行っているか。	定期的に接遇・挨拶・窓口チェックを行い、サービス向上を図っている。	○	
	来館者を増加させるための利用促進策は効果的であるか。	講座開催のほか、ロビー展（サークルの作品展など）やイベントを開催している。また、「東部市民センターだより」の町内回覧や、小学校などへの配布により事業の周知をはかるなど、市民が足を運ぶ機会を増やしている。	○	
	地域・関連団体との連携を図っているか。	センターの事業を開催する際には地元町会へ回覧板等で周知して参加を呼びかけるなど、地域との連携を図っている。	○	
	必須事業・自主事業は仕様書・提案書どおり実施されているか。	事業は計画どおり実施されている。	○	

【総合評価】

管理状況については、適切な人員配置を行っており、各種保守点検、防犯・防災対策等の施設管理業務についても適正に実施されている。

運営状況については、市民の平等利用が確保されており、利用者の意見要望の把握と反映に努め、事業も事業計画通りに実施しているほか、町会や地域の団体との連携が図られている。

今後も、引き続き施設の良好な管理運営に努めてほしい。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

【担当課】 青森市教育委員会事務局中央市民センター

【電話】 017-734-0163

【メール】 chuo-center@city.aomori.aomori.jp

令和7年度「青森市大野市民センター」に係るモニタリング評価結果（第1回）

青森市大野市民センターについては、青森市大野市民センター管理運営協議会が指定管理者として施設の管理運営を行っています。

指定管理者からのヒアリング内容及び実地調査等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和7年7月18日

施設名	青森市大野市民センター
設置目的	社会教育法第20条の目的である、区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するため設置しています。
所在地	青森市大字大野字若宮71番地
指定管理者	【名称】青森市大野市民センター管理運営協議会 【代表者】会長 加川 史 【住所】青森市大字大野字若宮71番地
指定期間	令和5年4月1日 から 令和10年3月31日 まで（5年間）

評価項目	実施内容	評価結果		
		適正	要改善	
管理について	市内在住者の雇用について配慮があるか。	本施設の職員は基本的に市内在住者である。（9人中9人、100%）	○	
	職員の適正配置がなされているか。	管理責任者1名、管理運営業務6名、清掃業務2名の計9名で勤務ローテーションを組み、日中は2～3名、夜間は2名配置され、適正な配置となっている。	○	
	職員の雇用・労働条件の向上に努めているか。	雇用・労働に係る法令等を遵守し、条件の向上に努めている。	○	
	職員の育成に方向性があるか。職員研修の内容及び回数は適切か。	接遇向上や生涯学習の推進を目的に内部研修を1回実施している。外部研修は2回参加している。今後も業務に支障のない範囲で参加予定であり、適切に行われている。	○	
	管理保守点検業務が適切に行われているか。	保守点検業務等は、一部を外部業者と契約し、日常的点検と併せ、適切に行われている。施設設備の修繕等は、中央市民センターと連携を図りながら対応しており、適切に行われている。	○	
	防犯・防災・緊急時の対応に関する取組が適切に行われているか。	緊急連絡網、緊急時の外部委託の連絡先を事務室内に掲示している。消防訓練は、7月に1回目を実施し、1月に2回目の実施を予定しており、適切に行われている。	○	
	個人情報保護の取組について、職員への周知や講じている保護策は適切か。	施設利用に係る申請書等個人情報が含まれるものは、鍵付キャビネットに保管し、適切に対応している。	○	
	環境保全、負荷低減への取組が適切か。	照明の部分点灯や和室の照明のLED化など、省エネに努めている。また、貸し部屋にポスターを掲示し、来館者に節電の取組への理解と協力を呼びかけており、適切に取り組んでいる。	○	
	障がい者等への対応は適切か。	体の不自由な利用者がいた場合は、できる限り声がけして介助したり、車イスを配備するなど、障がい者も支障なく施設を利用できるよう適切に対応している。	○	

運営について	平等な利用確保の方針は明確か。	利用団体相互の調整により、平等に利用されている。調整が困難な場合は、抽選を行うこととしており、利用者の平等利用に努めている。	○	
	利用者の要望を運営に反映する工夫がされているか。	市民向け講座実施の際、利用者アンケートを実施し、次期事業の企画立案の参考としている。館内に意見箱を設置し、意見要望の把握に努めており、適正に行われている。	○	
	利用者に対するサービス向上対策を行っているか。	接遇研修を行うとともに、利用者にとって親しみのある窓口となるよう努めている。	○	
	来館者を増加させるための利用促進策は効果的であるか。	講座に関するチラシの掲示や町会回覧版等により、市民への情報提供が適切に行われている。	○	
	地域・関連団体との連携を図っているか。	町会や地域の団体等が事業に協力するなど、地域との連携を図っており、適正に行われている。	○	
	必須事業・自主事業は仕様書・提案書どおり実施されているか。	事業は計画どおり実施されている。	○	

【総合評価】

管理状況については、適切な人員配置を行っており、各種保守点検、防犯・防災対策等の施設管理業務についても適正に実施されている。

運営状況については、市民の平等利用が確保されており、利用者の意見要望の把握と反映に努め、事業も事業計画通りに実施しているほか、町会や地域の団体との連携が図られている。

今後も、引き続き施設の良好な管理運営に努めてほしい。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

【担当課】 青森市教育委員会事務局中央市民センター

【電話】 017-734-0163

【メール】 chuo-center@city.aomori.aomori.jp

令和7年度「青森市横内市民センター」に係るモニタリング評価結果（第1回）

青森市横内市民センターについては、青森市横内市民センター管理運営協議会が指定管理者として施設の管理運営を行っています。

指定管理者からのヒアリング内容及び実地調査等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和7年7月9日

施設名	青森市横内市民センター
設置目的	社会教育法第20条の目的である、区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するため設置しています。
所在地	青森市大字横内字亀井28番地2
指定管理者	【名称】青森市横内市民センター管理運営協議会 【代表者】会長 館山 義光 【住所】青森市大字横内字亀井28番地2
指定期間	令和5年4月1日 から 令和10年3月31日 まで（5年間）

評価項目	実施内容	評価結果		
		適正	要改善	
管理について	市内在住者の雇用について配慮があるか。	本施設の職員は基本的に市内在住者である。（8人中8人、100%）	○	
	職員の適正配置がなされているか。	管理責任者1名、管理運営業務5名、清掃業務2名の計8名で勤務ローテーションを組み、日中は2～3名、夜間は2名配置され、適正な配置となっている。	○	
	職員の雇用・労働条件の向上に努めているか。	雇用・労働に係る法令等を遵守し、条件の向上に努めている。	○	
	職員の育成に方向性があるか。職員研修の内容及び回数は適切か。	接遇等に関する内部研修を月1回実施している。外部研修は、1回参加し、業務に支障のない範囲で今後も参加予定であり、適切に行われている。	○	
	管理保守点検業務が適切に行われているか。	保守点検業務等は、一部を外部業者と契約し、日常的点検と併せ、適切に行われている。施設設備の修繕等は、中央市民センターと連携を図りながら対応しており、適切に行われている。	○	
	防犯・防災・緊急時の対応に関する取組が適切に行われているか。	緊急連絡網、緊急時の外部委託業者の連絡先を事務室内に掲示しているほか、職員にも持たせている。消防訓練は、9月、3月に実施を予定しており、適切に行われている。	○	
	個人情報保護の取組について、職員への周知や講じている保護策は適切か。	団体登録書等の個人情報が含まれる簿冊は、鍵付キャビネットに保管している。廃棄文書は、シュレッダーで処理するなど、適切に対応している。	○	
	環境保全、負荷低減への取組が適切か。	不要箇所の消灯を徹底するなど、適切に取り組んでいる。	○	
	障がい者等への対応は適切か。	体の不自由な利用者がいた場合は、できる限り声がけて介助したり、車イスを配備するなど、障がい者も支障なく施設を利用できるよう適切に対応している。	○	

運営について	平等な利用確保の方針は明確か。	利用団体相互の調整により、平等に利用されている。調整が困難な場合は、抽選を行うこととしており、利用者の平等利用に努めている。	○	
	利用者の要望を運営に反映する工夫がされているか。	市民向け講座実施の際、利用者アンケートを実施し、次期事業の企画立案の参考としている。館内に意見箱を設置し、意見要望の把握に努めており、適正に行われている。	○	
	利用者に対するサービス向上対策を行っているか。	利用者からの声を得るため、1階ロビーに要望箱を設置し、サービス向上を図っている。	○	
	来館者を増加させるための利用促進策は効果的であるか。	講座に関するチラシ等を掲示し、市民への情報提供が適切に行われている。掲示については、「見やすい」「取りやすい」ための工夫がされている。	○	
	地域・関連団体との連携を図っているか。	近隣学校及び地域や関係団体と連携が図られており、適正に行われている。	○	
	必須事業・自主事業は仕様書・提案書どおり実施されているか。	事業は計画どおり実施されている。	○	

【総合評価】

管理状況については、適切な人員配置を行っており、各種保守点検、防犯・防災対策等の施設管理業務についても適正に実施されている。

運営状況については、市民の平等利用が確保されており、利用者の意見要望の把握と反映に努め、事業も事業計画通りに実施しているほか、町会や地域の団体との連携が図られている。

今後も、引き続き施設の良好な管理運営に努めてほしい。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

【担当課】 青森市教育委員会事務局中央市民センター

【電話】 017-734-0163

【メール】 chuo-center@city.aomori.aomori.jp

令和7年度「青森市戸山市民センター」に係るモニタリング評価結果（第1回）

青森市戸山市民センターについては、青森市戸山市民センター管理運営協議会が指定管理者として施設の管理運営を行っています。

指定管理者からのヒアリング内容及び実地調査等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和7年7月23日

施設名	青森市戸山市民センター
設置目的	社会教育法第20条の目的である、区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するため設置しています。
所在地	青森市蛸沢四丁目1番4号
指定管理者	【名称】青森市戸山市民センター管理運営協議会 【代表者】会長 寺嶋 多吉 【住所】青森市蛸沢四丁目1番4号
指定期間	令和5年4月1日 から 令和10年3月31日 まで（5年間）

	評価項目	実施内容	評価結果	
			適正	要改善
管理について	市内在住者の雇用について配慮があるか。	本施設の職員は基本的に市内在住者である。（9人中9人、100%）	○	
	職員の適正配置がなされているか。	管理責任者1名、管理運営業務6名、清掃業務2名の計9名で勤務ローテーションを組み、日中は2～3名、夜間は2名配置され、適正な配置となっている。	○	
	職員の雇用・労働条件の向上に努めているか。	雇用・労働に係る法令等を遵守し、条件の向上に努めている。	○	
	職員の育成に方向性があるか。職員研修の内容及び回数は適切か。	接遇等に関する内部研修を2回実施している。外部研修に2回参加し、業務に支障のない範囲で今後も参加予定であり、適切に行われている。	○	
	管理保守点検業務が適切に行われているか。	保守点検業務等は、一部を外部業者と契約し、日常的点検と併せ、適切に行われている。施設設備の修繕等は、中央市民センターと連携を図りながら対応しており、適切に行われている。	○	
	防犯・防災・緊急時の対応に関する取組が適切に行われているか。	緊急連絡網、緊急時の外部委託業者の連絡先を事務室内に掲示するほか、職員に持たせている。消防訓練は、4月に1回目を実施し、10月に2回目の実施を予定しており、適切に行われている。	○	
	個人情報保護の取組について、職員への周知や講じている保護策は適切か。	団体登録書等の個人情報が含まれる簿冊は、鍵付キャビネットに保管している。廃棄文書は、シュレッダーで処理するなど、適切に対応している。	○	
	環境保全、負荷低減への取組が適切か。	不要箇所の消灯やLED化を進めるなど省エネに努めており、適切に取り組んでいる。	○	
	障がい者等への対応は適切か。	体の不自由な利用者がいた場合は、できる限り声がけして介助したり、車イスを配備するなど、障がい者も支障なく施設を利用できるよう適切に対応している。	○	

運営について	平等な利用確保の方針は明確か。	利用団体相互の調整により、平等に利用されている。調整が困難な場合は、抽選を行うこととしており、規則等に従って、利用者の平等利用に努めている。	○	
	利用者の要望を運営に反映する工夫がされているか。	事業実施の際、利用者アンケートを実施しニーズの把握に努め、次期事業の企画立案の参考としている。館内に意見箱を設置し、意見要望の把握に努めている。	○	
	利用者に対するサービス向上対策を行っているか。	内部会議による検討や利用者からの声を得るための投書箱を設置するなど、サービス向上を図っている。	○	
	来館者を増加させるための利用促進策は効果的であるか。	講座の開催予定一覧やチラシなどの掲示や、「戸山市民センターだより」の町内回覧により事業の周知をはかるなど、市民が足を運ぶ機会を増やしている。	○	
	地域・関連団体との連携を図っているか。	町会や地域の団体等が事業に協力するなど、地域との連携を図っており、適正に行われている。	○	
	必須事業・自主事業は仕様書・提案書どおり実施されているか。	事業は計画どおり実施されている。	○	

【総合評価】

管理状況については、適切な人員配置を行っており、各種保守点検、防犯・防災対策等の施設管理業務についても適正に実施されている。
 運営状況については、市民の平等利用が確保されており、利用者の意見要望の把握と反映に努め、事業も事業計画通りに実施しているほか、町会や地域の団体との連携が図られている。
 今後も、引き続き施設の良好な管理運営に努めてほしい。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

【担当課】 青森市教育委員会事務局中央市民センター
 【電話】 017-734-0163
 【メール】 chuo-center@city.aomori.aomori.jp

令和7年度「北部地区農村環境改善センター」に係るモニタリング評価結果（第1回）

北部地区農村環境改善センターについては、青森市北部地区農村環境改善センター管理運営協議会が指定管理者として施設の管理運営を行っています。

指定管理者からのヒアリング内容及び実地調査等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和7年7月25日

施設名	北部地区農村環境改善センター
設置目的	農業経営及び農家生活の改善合理化、農業者等の健康増進、地域連帯感の醸成等を図り、農村の環境整備を組織的に推進するため設置しています。
所在地	青森市大字奥内字宮田41番地3
指定管理者	【名称】青森市北部地区農村環境改善センター管理運営協議会 【代表者】会長 井上 信城 【住所】青森市大字奥内字宮田41番地3
指定期間	令和5年4月1日 から 令和10年3月31日 まで（5年間）

評価項目	実施内容	評価結果		
		適正	要改善	
管理について	市内在住者の雇用について配慮があるか。	本施設の職員は基本的に市内在住者である。（9人中9人、100%）	○	
	職員の適正配置がなされているか。	管理責任者1名、管理運営業務6名、清掃業務2名の計9名で勤務ローテーションを組み、日中は2～3名、夜間は2名配置され、適正な配置となっている。	○	
	職員の雇用・労働条件の向上に努めているか。	雇用・労働に係る法令等を遵守し、条件の向上に努めている。	○	
	職員の育成に方向性があるか。 職員研修の内容及び回数は適切か。	接遇等に関する内部研修を1回実施しており、今後も実施予定である。生涯学習や地域コミュニティ活動等の推進を目的に外部研修にも1回参加しており、適切に行われている。	○	
	管理保守点検業務が適切に行われているか。	保守点検業務等は、一部を外部業者と契約し、日常的点検と併せ、適切に行われている。施設設備の修繕等は、中央市民センターと連携を図りながら対応しており、適切に行われている。	○	
	防犯・防災・緊急時の対応に関する取組が適切に行われているか。	緊急連絡網、緊急時の外部委託の連絡先を事務室内に掲示しているほか、職員にも持たせている。消防訓練は、9月と3月に実施予定であり、適切に行われている。	○	
	個人情報保護の取組について、職員への周知や講じている保護策は適切か。	団体登録書等の個人情報が含まれる簿冊は、鍵付キャビネットに保管している。廃棄文書は、シュレッダーで処理するなど、適切に対応している。	○	
	環境保全、負荷低減への取組が適切か。	照明の部分点灯、不要箇所の消灯の徹底、紙の裏面再利用など、省エネに努めている。館内にポスターを掲示し、来館者へ節電に対する理解と協力を呼びかけており、適切に取り組んでいる。	○	
	障がい者等への対応は適切か。	体の不自由な利用者がいた場合は、できる限り声がけして介助したり、車イスを配備するなど、障がい者も支障なく施設を利用できるよう適切に対応している。	○	

運営について	平等な利用確保の方針は明確か。	利用団体相互の調整により、平等に利用されている。調整が困難な場合は、抽選を行うこととしており、利用者の平等利用に努めている。	○	
	利用者の要望を運営に反映する工夫がされているか。	事業実施後、利用者アンケートを行いニーズの把握に努め、次期事業の企画立案の参考にしている。一階ロビーに意見箱を設置し、意見要望等の把握に努めている。	○	
	利用者に対するサービス向上対策を行っているか。	苦情処理の受付担当者と責任者を決め、対応・解決にあたっている。	○	
	来館者を増加させるための利用促進策は効果的であるか。	講座一覧や講座ごとに作成した募集チラシの館内掲示や、「北部市民センターだより」の町会回覧板による周知など、市民への情報提供が適切に実施されている。	○	
	地域・関連団体との連携を図っているか。	町会や地域の団体等が事業に協力するなど、地域との連携を図っており、適正に行われている。	○	
	必須事業・自主事業は仕様書・提案書どおり実施されているか。	事業は計画どおり実施されている。	○	

【総合評価】

管理状況については、適切な人員配置を行っており、各種保守点検、防犯・防災対策等の施設管理業務についても適正に実施されている。

運営状況については、市民の平等利用が確保されており、利用者の意見要望の把握と反映に努め、事業も事業計画通りに実施しているほか、町会や地域の団体との連携が図られている。

今後も、引き続き施設の良好な管理運営に努めてほしい。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

【担当課】 青森市教育委員会事務局中央市民センター

【電話】 017-734-0163

【メール】 chuo-center@city.aomori.aomori.jp

令和7年度「青森市油川市民センター」に係るモニタリング評価結果（第1回）

青森市油川市民センターについては、元気町あぶらかわ市民センター運営協議会が指定管理者として施設の管理運営を行っています。

指定管理者からのヒアリング内容及び実地調査等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和7年7月15日

施設名	青森市油川市民センター
設置目的	住民のふれあいと連帯感あふれる地域社会づくりを推進し、併せて地域文化活動の振興、生涯学習の充実、健康の増進等を図り、もって豊かな市民生活の形成に資するため設置しています。
所在地	青森市大字羽白字池上197番地1
指定管理者	【名称】元気町あぶらかわ市民センター運営協議会 【代表者】会長 葛西 清光 【住所】青森市大字羽白字池上197番地1
指定期間	令和5年4月1日 から 令和10年3月31日 まで（5年間）

評価項目	実施内容	評価結果		
		適正	要改善	
管理について	市内在住者の雇用について配慮があるか。	本施設の職員は市内在住者である。 (9人中9人、100%)	○	
	職員の適正配置がなされているか。	管理責任者1名、管理業務員5名、図書業務員3名の計9名で勤務ローテーションを組み、日中は概ね2名、夜間は2名が事務室に配置され、適正な配置となっている。	○	
	職員の雇用・労働条件の向上に努めているか。	雇用・労働に係る法令等を遵守し、条件の向上に努めている。	○	
	職員の育成に方向性があるか。 職員研修の内容及び回数は適切か。	内部研修は、接遇に関する研修等を実施しており、今後も随時実施予定である。外部研修についても、事業実施に係る情報交換会等に参加しており、今後も業務に支障のない範囲で参加することとしている。	○	
	管理保守点検業務が適切に行われているか。	保守点検業務等は、一部を外部業者と契約し、日常的点検と併せ、施設全般の保守点検が適正に行われている。施設設備等の修繕等は、中央市民センターと連携を図りながら対応しており、適正に行われている。	○	
	防犯・防災・緊急時の対応に関する取組が適切に行われているか。	緊急連絡網を防災マニュアルとともに事務室のわかりやすい場所に設置しているほか、避難訓練を7月と2月に実施予定であり、適正に行われている。	○	
	個人情報保護の取組について、職員への周知や講じている保護策は適切か。	団体登録書、使用申請書等の簿冊は鍵付キャビネットに保管し、不要な持ち出しがないようにしている。パソコンはパスワードで管理し、廃棄文書はシュレッダーで処理するなど、適切に対応している。	○	
	環境保全、負荷低減への取組が適切か。	照明の部分点灯や使用していない部屋の消灯を徹底し、再生紙を利用するなど継続して省エネに努めている。ポスターを掲示し来館者へも理解と協力を呼びかけており、適正に行われている。	○	
	障がい者等への対応は適切か。	障がい者等の体の不自由な利用者がいた場合にはできる限り声がけして介助したり、車イスを配備するなど、障がい者も支障なく施設を利用できるよう適切に対応している。	○	

運営について	平等な利用確保の方針は明確か。	貸館業務については、調整により平等利用が図られているほか、重複する場合には月末に抽選で利用者を決定することとし、規則等に従って利用者の平等利用に努めている。	○	
	利用者の要望を運営に反映する工夫がされているか。	事業実施の際、利用者アンケートを実施しニーズの把握に努め、次期事業の企画立案の参考としている。館内に意見箱を設置し、意見要望の把握に努めている。	○	
	利用者に対するサービス向上対策を行っているか。	定期的に研修が行われ、サービス向上を図っている。	○	
	来館者を増加させるための利用促進策は効果的であるか。	講座に関するチラシ等の掲示や町内回覧版等により、市民への情報提供は適切に実施されている。	○	
	地域・関連団体との連携を図っているか。	町会や地域の団体等が館内に展示を行ったり事業の周知や実施に協力するなど、地域との連携を図っており、適正に行われている。	○	
	必須事業・自主事業は仕様書・提案書どおり実施されているか。	事業は計画どおり実施されている。	○	

【総合評価】

管理状況については、適切な人員配置を行っており、各種保守点検、防犯・防災対策等の施設管理業務についても適正に実施されている。

運営状況については、市民の平等利用が確保されており、利用者の意見要望の把握と反映に努め、事業も事業計画通りに実施しているほか、町会や地域の団体との連携が図られている。

今後も、引き続き施設の良好な管理運営に努めてほしい。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

【担当課】 青森市教育委員会事務局中央市民センター

【電話】 017-734-0163

【メール】 chuo-center@city.aomori.aomori.jp

令和7年度「青森市西部市民センター」に係るモニタリング評価結果（第1回）

青森市西部市民センターについては、青森市西部市民センター管理運営協議会が指定管理者として施設の管理運営を行っています。

指定管理者からのヒアリング内容及び実地調査等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和7年7月24日

施設名	青森市西部市民センター
設置目的	住民のふれあいと連帯感あふれる地域社会づくりを推進し、併せて地域文化活動の振興、生涯学習の充実、健康の増進等を図り、もって豊かな市民生活の形成に資するため設置しています。
所在地	青森市大字新城字平岡163番地22
指定管理者	【名称】青森市西部市民センター管理運営協議会 【代表者】会長 関 良 【住所】青森市大字新城字平岡163番地22
指定期間	令和6年4月1日 から 令和11年3月31日 まで（5年間）

評価項目	実施内容	評価結果		
		適正	要改善	
管理について	市内在住者の雇用について配慮があるか。	本施設の職員は市内在住者である。 (19人中19人、100%)	○	
	職員の適正配置がなされているか。	管理責任者1名、庶務経理業務員1名、施設設備業務員3名、管理運営業務員1名、図書関連業務員1名、事業関連業務員2名、児童集会室支援員4名、プール業務員6名の計18名で勤務ローテーションを組み、日中は事務室4名・児童室2名・プール2名、夜間は事務室2~3名・プール2名が配置され、適正な配置となっている。	○	
	職員の雇用・労働条件の向上に努めているか。	雇用・労働に係る法令等を遵守し、条件の向上に努めている。	○	
	職員の育成に方向性があるか。 職員研修の内容及び回数は適切か。	内部研修として市民意見や苦情等への対応事例等について、随時、情報共有を図っている。外部研修についても、事業実施に係る情報交換会等に参加することとしており、今後も業務に支障のない範囲で参加することとしている。	○	
	管理保守点検業務が適切に行われているか。	保守点検業務等は、一部を外部業者と契約し、日常的点検と併せ、施設全般の保守点検が適正に行われている。施設設備等の修繕等は、中央市民センターと連携を図りながら対応しており、適正に行われている。	○	
	防犯・防災・緊急時の対応に関する取組が適切に行われているか。	緊急連絡網を事務室内に掲示しているほか、職員にも持たせている。防災マニュアルを事務室のわかりやすい場所に設置し、職員に周知している。10月と3月には防災訓練の実施を予定しており、適正に行われている。	○	
	個人情報保護の取組について、職員への周知や講じている保護策は適切か。	団体登録簿、使用申請書等の簿冊は鍵付キャビネットに保管し、不要な持ち出しがないようにしている。パソコンはパスワードで管理し、廃棄文書はシュレッダーで処理するなど、適切に対応している。	○	
	環境保全、負荷低減への取組が適切か。	照明やOA機材などの適正使用及び不要箇所の消灯の徹底、空調温度管理、紙の裏面再利用など、継続して省エネに努めている。また、ポスターを掲示し、来館者へも理解と協力を呼びかけており、適正に行われている。	○	
	障がい者等への対応は適切か。	障がい者等の体の不自由な利用者がいた場合にはできる限り声がけして介助したり、車イスを配備するなど、障がい者も支障なく施設を利用できるよう適切に対応している。	○	

運営について	平等な利用確保の方針は明確か。	利用希望が多いアリーナ、多目的ホール等については、月末に抽選会を実施しているほか、規則等に従って利用者の平等利用に努めている。	○	
	利用者の要望を運営に反映する工夫がされているか。	事業実施の都度、利用者アンケートを実施しニーズの把握に努め、次期事業の企画立案の参考としている。館内に意見箱を設置し、利用者の声の把握に努めている。	○	
	利用者に対するサービス向上対策を行っているか。	窓口のカウンター前に荷物置きを置くなど、利用者目線での対策が行われ、サービス向上を図っている。	○	
	来館者を増加させるための利用促進策は効果的であるか。	講座に関するチラシ等の掲示など、市民への情報提供が適切に行われている。掲示については、「見やすい」「取りやすい」ための工夫がされている。	○	
	地域・関連団体との連携を図っているか。	新城中央小学校と連携して児童集会室の管理運営を行なっている。また、地元文化団体や町会と共催で秋頃に写真展、作品展や菊花展、冬には雪を楽しむつどいを予定するなど、地域との連携を図っている。	○	
	必須事業・自主事業は仕様書・提案書どおり実施されているか。	事業は計画どおり実施されている。	○	

【総合評価】

管理状況については、適切な人員配置を行っており、各種保守点検、防犯・防災対策等の施設管理業務についても適正に実施されている。

運営状況については、市民の平等利用が確保されており、利用者の意見要望の把握と反映に努め、事業も事業計画通りに実施しているほか、町会や地域の団体との連携が図られている。

今後も、引き続き施設の良好な管理運営に努めてほしい。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

【担当課】 青森市教育委員会事務局中央市民センター

【電話】 017-734-0163

【メール】 chuo-center@city.aomori.aomori.jp

令和7年度「青森市森林博物館」に係るモニタリング評価結果（第1回）

青森市森林博物館については、青森県森林組合連合会が指定管理者として施設の管理運営を行っています。

指定管理者からのヒアリング内容及び実地調査等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和7年7月30日

施設名	青森市森林博物館
設置目的	森林に関する資料を調査収集し、保管し、展示して教育的配慮の下に市民の利用に供し、もって市民の教育・文化の発展に寄与すること。
所在地	青森市柳川2丁目4番37号
指定管理者	【名称】青森県森林組合連合会 【代表者】代表理事会長 蛭沢 正勝 【住所】青森市松原1丁目16番25号
指定期間	令和4年4月1日 から 令和9年3月31日 まで（5年間）

評価項目		実施内容	評価結果	
			適正	要改善
管理について	適正な職員配置となっているか。	仕様書どおり適正に行われている。常勤職員として、経理や事務を担当する者に加え、林業技師など森林に関する知識・経験を有する職員を配置し、専門性を高めている。	○	
	職員の研修が実施されているか。	仕様書どおり適正に行われている。指定管理者自らによる研修を実施しているほか、講習会等積極的に参加し、職員の資質向上に努めている。	○	
	管理保守点検業務が適切に行われているか。	仕様書どおり適正に行われている。毎日の施設巡回・目視点検を実施しているほか、台風等の自然災害の発生が予測される場合は、未然の防止策を講じ、担当課へ随時状況報告をしている。	○	
	防犯、防災、緊急時の対応は、的確か。	仕様書どおり適正に行われている。青森市教育委員会災害対応マニュアルに加え、独自に危機管理マニュアルを作成し、職員研修を行い、緊急連絡網も職員全員が見える位置に掲示している。	○	
	個人情報保護について適切な対応が行われているか。	仕様書どおり適正に行われている。指定管理者独自の個人情報保護規程とともに、個人情報の保護に関する法律に則した対応をしている。	○	
運営について	環境保全（省エネ、省資源等）に努めているか。	仕様書どおり適正に行われている。館内を見回り、こまめな消灯、資源ごみ分別、再生紙・古紙・両面印刷利用などに取り組んでいる。	○	
	市民の平等利用が確保されているか。	仕様書どおり適正に行われている。特定の団体の利用に偏らないことを意識した、公正公平な対応をしている。	○	
	利用者の要望、意見を把握し、運営に反映しているか。	仕様書どおり適正に行われている。館内にアンケート箱を設置するなど要望・意見等を集め、定期的に表にまとめて職員間で情報共有し、必要に応じて担当課と協議し、運営の見直しを図っている。	○	
	事業は、施設の設置理念に沿い、計画的に実施されているか。	仕様書どおり適正に行われている。森林に関連した多様な協力団体との連携による専門性ある企画に加え、体験等を重視したイベントも開催している。	○	
	利用者のニーズに合致した魅力あるサービスを提供しているか。	仕様書どおり適正に行われている。イベントの開催やホームページ運営等により、入館者数増加に対する努力も認められる。	○	

【総合評価】

施設の管理運営状況、事業実施状況、収支決算書については、いずれの項目においても適正と認められる。

広い年齢層から親しまれる運営を重視し、体験等を盛り込んだイベントの開催に精力的に取り組み、博物館ホームページの作成・更新等、PRにおいてもわかりやすい表現等に努めている。また、専門性を維持しながら、幅広い客層を対象とした取組により、集客力の向上に努めている。

今後においても、施設の適正な管理はもとより、施設の設置目的を踏まえ、魅力あるイベント等を開催するとともに、一層効果的な周知・広報を期待する。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

【担当課】 青森市教育委員会事務局文化遺産課

【電話】 017-718-1392

【メール】 bunkaisan@city.aomori.aomori.jp